

第44回総会ならびに学術講演会予告(第3回)

学会会員殿

第44回日本産科婦人科学会総会ならびに学術講演会を下記のように開催いたします。

I. 期 日：平成4年4月4日(土)、5日(日)、6日(月)、7日(火)

II. 会 場：幕張メッセ(千葉市中瀬2-1)

III. 日 程：

4月4日(土)	評議員会, 総会, 懇親会 生涯研修プログラム
4月5日(日)	招請講演, 特別講演 教育講演, シンポジウム 会長講演
4月6日(月)	一般講演, ポスターセッション フィルム・ビデオセッション
4月7日(火)	一般講演, ポスターセッション フィルム・ビデオセッション

IV. 招請講演

ウイルスの進化と感染症の変遷 千葉大学微生物学第一教授 清水 文七君

V. 特別講演

トロホブラスト—その機能調節と病態生理— 神戸大学教授 望月 真人君

VI. シンポジウム

妊娠の成立機構—胚発生から着床まで— 座長 京都大学教授 森 崇英君
山形大学教授 廣井 正彦君

演 者(五十音順)

1. 超早期妊娠関連物質の発現機構と胚成長への関与の研究

—early pregnancy factor の構造決定と相同物質の解析—

慶應義塾大学助手 末岡 浩君

2. 胚発生および着床現象における細胞成長因子の意義に

関する研究

横浜市立大学助教授 多賀 理吉君

3. *In vitro* 着床モデルを用いた受精卵着床機構の研究

福井医科大学助手 根上 晃君

4. 哺乳類初期胚発生に及ぼす環境因子の解析 京都大学助教授 野田 洋一君

VII. 教育講演

1. 生殖生理におけるカルシウムイオンの役割 大阪大学講師 三宅 侃君
2. 実験周産期医学—胎児子宮外保育の可能性—
東京大学助教授 桑原 慶紀君
3. 不妊治療の現状と展望—特に男性不妊—
慶應義塾大学助教授 小林 俊文君
4. 子宮筋腫の病態と治療 信州大学教授 藤井 信吾君
5. 子宮脱の病型分類と治療法の個別化 防衛医科大学教授 永田 一郎君

VIII. 会長講演

- 癌制圧に向けて—絨毛癌— 千葉大学教授 高見澤裕吉君

IX. 生涯研修プログラム

1. レクチャーシリーズ
 - 1) 骨粗鬆症の予防と管理—特にエストロゲン補充療法について—
愛知県総合保健センター部長 青木 孝允君
 - 2) 超音波画像診断—特に経腔プローブについて—
順天堂大学医学部付属順天堂浦安病院教授 竹内 久彌君
 - 3) 卵巣癌—最近の動向—
 1. 診断 東京慈恵会医科大学柏病院助教授 安田 允君
 2. 治療 東京慈恵会医科大学講師 落合 和徳君
2. クリニカルカンファランス
コルポスコプの実際
 - 1) 手技の基礎 国立栃木病院部長 長谷川壽彦君
 - 2) 診断の実際 千葉大学講師 岩崎 秀昭君
 - 3) スライドセミナー(2題) 東北大学講師 佐藤 信二君
3. パネルディスカッション
胎児管理—周産期における児の予後改善をめざして—
 - 1) 解説講演
 1. 妊娠中の胎児モニタリング 武久産婦人科医院院長 武久 徹君
 2. 分娩時の胎児モニタリング 自治医科大学助教授 佐藤 郁夫君
 - 2) 症例
 1. Preterm PROM 宮崎医科大学教授 池ノ上 克君
 2. IUGR 旭川医科大学助教授 石川 睦男君
 3. 双胎 香川医科大学助教授 原 量宏君
 4. 羊水過少症—Amnioinfusion— 川鉄千葉病院部長 内藤 正文君
 5. 肩甲難産 虎の門病院部長 佐藤 孝道君

4. フィルム・ビデオセッション

- 1) 婦人科手術
- 2) プロスタグランディン

X. 一般講演・ポスターセッション

学会発表の形式は一般講演とポスターセッションです。両者は下記の要領で募集し、採否は平成3年11月30日の理事会で決定されます。

1. 申込み締切り日および申込み先

平成3年10月11日(金)(当日消印有効)までに、所定の用紙を必ず速達書留郵便にて下記宛お送り下さい。締切り日を越えてからの出題は受理されません。

申込先 〒280 千葉市亥鼻1-8-1

千葉大学医学部産科婦人科学教室内

第44回日本産科婦人科学会学術講演会事務局

TEL 0472-22-7171 内線2212・2214

2. 一般講演・ポスターセッション申込み上の注意

(1) 演題内容

1. 申込みの時点で結論が明確であり、かつ未発表のものに限ります。
2. 倫理面を十分に考慮した研究について応募して下さい。とくに生体または生体材料等を用い、倫理上の問題が生じる可能性がある研究には、「患者の同意」「所属機関の倫理委員会の承認」などを得た旨を講演要旨本文中に明記して下さい。倫理的な内容も採否の審査対象となります。

(2) 機関ごとの演題数制限

1 機関当り一般講演7題以内、ポスターセッション3題以内とし、内容が互いに重複してはなりません。

この場合、1機関は1部局とし、産科婦人科(教室)と別の診療科(教室)は別機関とします。ただし、産科婦人科(学)に関して複数の診療科(教室)や分院を有する場合にはそれらを含めて1機関とし、当分の間、医療短大および分娩部は産科婦人科教室と同一機関とみなします。

演題を2機関以上の連名で出題した場合は、各機関それぞれの出題数として数えます。

(3) 演者

1 演者(発表者)が申込める演題数は1題のみです。ただし、共同演者として他の演題に名を連ねることはできます。

演者および共同演者とも、同一人が二つ以上の機関から出題することはできません。

演者、共同演者ともに申込みの時点で本会会員であることが必要です。連名で申込む場合に注意して下さい。

(4) 申込み用紙

申込みには機関誌43巻8号に綴じ込んである所定の用紙(A, B, C)を使用して下さい。その際、演題選考用に、所属機関名・演者名を含まない講演要旨(A)のコピー(所属機関名・演者名の部分を白紙で覆ってコピーする)6部を必ず添付して下さい。申込み用紙がさらに必要な場合には、上記学術講演会事務局に連絡して下さい。

(5) 発表形式の選択

希望する発表形式(一般講演、ポスターセッション)のいずれか一方を○で囲んで下さい。ポスターセッションを希望する場合は講演要旨(A)とそのコピーの左上隅を切取して下さい。

(6) 演題分類の選択

発表を希望する主題群(演題分類)は該当するものを綴じ込み用紙B面下部の各コードより一つずつ選んでA面・B面上段に記入して下さい。演題分類はプログラム作成上の都合で希望項目から変更される場合があります。

(7) 講演要旨(A)

以下の項目が守られていない場合は失格となりますので注意して下さい。

1. フォトコピーによって抄録集に掲載されますので、黒インク、5号明朝活字の和文タイプを使用し、1行22字詰で必ず枠内に記入して下さい。ワープロを使用する場合には10.5ポイント明朝体で、48ドット以上の高品位文字に限ります。指定した行間をつめたり、斜線部分に記入してはなりません。
2. 本文は700字(1行22文字、32行)以内にまとめ〔目的〕、〔方法〕、〔成績〕、〔結論〕の4項目に分けて、この順に記入して下さい。ただし、完全症例の場合は4項目に分ける必要はありません。
3. 数字、欧単語のアルファベット、記号、スペースなどはすべて漢字1/2文字として数え、またそれに相当する大きさの活字を使用して下さい。
4. 本文に図表、写真を入れないで下さい。
5. 所属機関名、演者名を伏せて選考しますので、演題あるいは本文中に具体的な機関名、演者名を記入したり、それらを明らかに想定できるような内容を記述してはなりません。

(8) 演題申込み用紙(B)

1. 演題、連絡先のほか、演者、共同演者の氏名、フリガナ、所属機関名、会員コード番号を記入して下さい。
2. 会員コード番号を記入されていない申込み書は受理されません。

(9) 受取書・採否通知書（C）

1. 受取書と採否通知書の両方に演題を記入して下さい。
2. 受取書と採否通知書の両方の裏面に申込み者の住所・氏名を記入し、切手を貼って下さい。

(10) 内容変更

申込み受付後の演題名，発表演者名あるいは内容の一部などの変更は，原則として認められません。

(11) 所属機関名表示方法

機関名（大学，病医院，診療所，センター，研究所など）は可能な限り略式に表示し，機関ごとに表示法を統一して下さい。

- * 「大学」は〇〇大のように，また「医科大学」は医大と略す。「医学部」は省略する。
- * 固有の機関名は原則としてそのまま記すが，略称が慣用化されている場合には略称を用いてもよい。ただし，機関名に含まれる都道府県名や都市名は短縮しないで正式名を用いる。
- * 財団法人，社会福祉法人，医療法人などの名称は，それを付記しなければ他の機関と区別し難い場合などのほかは省略するものとする。
- * 産婦人科，産科，婦人科，母子科，周産期科などの場合は部科名を略し，それ以外（小児科，中検，病理など）の場合は部科名まで記入する。

XI. 評議員会・総会

平成4年4月4日（土）に予定しております。

詳細は後日お知らせいたします。

XII. 学術講演会参加の事前申込みについて

学術講演会に参加される方は，後日，本誌に挿入する所定の振替用紙を用いて，できるだけ事前に，必ず個人別に申込んで下さい。

XIII. 懇親会について

平成4年4月4日（土）に予定しております。

事前登録の際，多くの方々からご予約を戴きたいと存じます。

詳細は決定次第お知らせいたします。

XIV. 各大学同窓会

平成4年4月6日（月）に計画されるようお願いいたします。

XV. その他については，決定次第お知らせいたします。

平成3年8月

日本産科婦人科学会会長 高見澤裕吉